



ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である。

(ルカによる福音書16章10節)

He who is faithful in what is least is faithful also in much. (Luke 16:10)



小さな事と大きな事

ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である。

—ルカによる福音書16章10節—



九州学院チャプレン・副院長 小副川 幸孝

2020年度は新型コロナウイルス感染症予防のための異例の休校から始まりました。今回の感染症は、中国からまたたく間に世界中に広がり、現在もおお世界的な感染の広がりを見せています。学校も、入学式や

始業式をインターネットを用いた分散型で行いましたが、長期の休校措置をとらざるを得なくなり、ようやく6月から再開するという事態になりました。

有史以来様々な感染症をこれまでも人類は度々経験してきました。しかし、社会活動のグローバル化が進み、複雑な社会構造を形成した現代社会の中での感染拡大となりましたので、これまでの日常生活の形態の多くが制限され、社会行動様式を変化せざるを得なくなり、多くの不安や心配が渦巻いているのが現状です。

かつて14世紀から17世紀にかけて西欧中に広がったペストは死者が1億人を越えたと言われ、北里柴三郎らがペスト菌を発見するまで「黒死病」として恐れられました。町や村が全滅するという事態にまで至ったことはよく知られています。しかし、その時、ある医者が「ペストに対する戦いの唯一の手段は、誠実であることだ。誠実に自分のできることをすることだ」と語ったと記されています。

このような事態の中で、「小さなことでも自分にできることをしていく」というのは、聖書が示す大事な在り方だろうと思います。学びもスポーツも、自分のできることから始める。学院はそのような歩みができればと願っています。

新型コロナウイルス感染症拡大で年度をまたぐ3か月間の休校

6月1日より学校での教育活動を再開

ICTを用いた新たな取り組みも始まる

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、中高は3月初めから5月末まで、異例の3か月間にわたる（延長期間を含む）休校措置を講じました。この間に予定されていた学校行事のほとんどが中止または延期となり、在校生は修了式を経ることなく進級となりました。部活動でも全国選抜大会、全国高校総体をはじめとするほぼ全ての全国大会、地方大会が中止となり、休校期間中は部としての練習も行えませんでした。休校期間中、教職員は生徒へのケアと併せて、学習支援における新たな取り組みを進めました。ウェブ会議システム（Zoom）でのホームルーム実施、教育プラットフォーム（Classi）：高校（のみ）での学習動画・



分散型で行われた高校始業式

教材配信と課題提出、動画共有サービス（YouTube）での授業・礼拝動画配信などICTを用いたさまざまな実践例を教職員で共有することで、学校教育活動の幅が広がる機会も得られました。3月20日（金）の新生活式・入学式（今年度は中高分離開催）は内容を簡略化し、時間短縮および分散型での開催にいたしました。礼拝や学校長訓辞などは、3号館ホールから各教室に、放送とICTを用いて同時中継されました。5月20日（水）22日（金）の学年別登校を経て、6月1日（月）より学校での授業が一斉に再開されました。中高では徹底した消毒と換気の実施、全員のマスク着用など「新しい生活様式」に則したかたちで安全管理に努めています。現在、朝礼での讃美歌は歌詞を目で追いつながりながら聴く、昼食は机を向かい合わせずに静かに摂るなど、休校前とは異なる学校生活ではありますが、共に学校生活を送れる喜びを生徒と教職員は噛みしめながら日々の歩みを進めています。本記事執筆時点（6月中旬）で先行き不透明な事柄は多々ありますが、主なる神さまに祈りつつ、できることを丁寧に行わせていただけるようお願いいたします。

高校

休校期間の『節目の日』

—方式と内容を変更して式典を実施—

① 卒業証書授与式

3月2日（月）、九州学院総合体育館において九州学院高等学校第72回卒業証書授与式が挙行され、345人が学び舎からそれぞれの進路へと旅立ちました。式場には生徒、保護者、教職員が集い、節目の厳粛な式典に臨みまし

② 入学式

4月22日（水）、2020年度九州学院高等学校入学式が挙行され、新入学生342人が晴れて九州学院高等学校の新たななかまに加わりました。新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発出により、本来の予定日から約2週間遅れての入学式となりました。今回の入学式は感染



症拡大防止のため内容を簡略化して実施しました。また、来賓および卒業後50年・30年の方々にはご臨席を控えていただきました。証書授与では担任が卒業生の名前を一人ずつ読み上げ、代表生徒に阿部校長から卒業証書が授与されました。賞状授与、特別表彰と校長訓辞が行われた後、在校生を代表して岩田花佳生徒会長が送辞を述べ、校歌斉唱をはさんで濱田康大朗前生徒会長が卒業生を代表して感謝と決意の答辞を読み上げました。閉式後、卒業生は保護者とともに高校生活最後のホームルームに臨み、互いの門出のときを祝し合いました。

朝ごとくに新たに

九州学院 院長 阿部 英樹



6月1日、中学校に109名、高校に342名の新入生を迎えて、朝の礼拝から新様式での学校生活が再開しました。生徒たちの表情からは、友人たちと会えた安堵と喜びの思いが伝わってきます。

久しぶりに学校に戻ってきて、生徒たちは、学校生活は楽しいものであり、自分にとって大切な生活の場であると感じていることでしょうか。九州学院は、知識を得るだけでなく、人格においても感性においても、豊かな人に育っていくための全人教育の場です。生徒たちにとって、充実した日になるようにと祈りながら一日を始めています。4年前、熊本地震後の登校日初日もそうでした。あの頃は、大地の揺れがいつ収束するのか分からず、今と同様に多くのことが不確実性に満ちていました。被災して使用不能になった中学校校舎を前に、時折なおも揺れる運動場での朝礼では、イエスキリストによって与えられる希望があることを、心をこめて語りました。先の見通せない不透明な状況にあっても、希望へ至る道が必ず用意されていることを、中高生たちに伝えたいのでした。人生のピンチの時には、自分の抱えている悩みや苦しみの重荷に耐え難くなり、閉塞感の漂う中で孤独を感じることがあります。そのような時に、九学時代に歌った讃美歌「いつくしみ深き友なるイエスは」の一節がふと思い出されて、いつも自分に寄り添っている友の存在に気づくことができれば、重荷がすーっと軽くなっていく経験をするでしょう。6月の朝礼では、今年も声を出さず、この讃美歌を心の中で一緒に歌いました。ある日、もしも希望を失いそうになった時には、讃美歌のメロディーと一緒に九学での青春の日々を思い起こしてみればどうでしょうか。その時に、心が自然と温もり、「もう一度立ち上がって生きていこう」という気持ちになれることを願っています。またいつの時にも、九州学院が、学院に連なる人たちにとって心の故郷であることを願っています。未来は、朝ごとに始まります。不確実で先が見えないように思っても、必ず扉が開かれて、その先に光があることを私たちは信じて待つことができます。今日も命が与えられていること、そのことに感謝しながら、共に新しい一日を始められたらと思います。聖書には「主のいつくしみは決して絶えない。主の憐みは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる。」（哀歌3:22-23）とあります。

教職員異動



小手川 勲 (英語) 1976(昭和51)年 4月に英語科教師として着任。長きにわたり広報部長、同窓会事務局として学院の情報発信に大きく貢献。卒業生をはじめ各方面との連携強化に尽力。学院の歴史と現在を縦横に紡ぐ重責を果たす。



石橋 金治 (保健体育) 1977(昭和52)年 4月に保健体育科教師として着任。生徒指導部長などを歴任。柔道部では顧問また全国有数の指導者として、歴代の中高生部員を全国大会や国際大会出場に何度も導き、数々の輝ける実績を挙げる。

2019(令和元)年度 事業活動収支計算書 (単位:百万円)
Table with columns for 事業活動収入の部 and 事業活動支出の部, including items like 学生生徒納付金, 人件費, 経費, etc.

(参考)
Table with columns for 事業活動収入計 and 事業活動支出計, showing totals of 1,379 and 1,306 respectively.

育友会総会(5月開催予定)は休校の影響で中止

新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる内閣総理大臣ならびに首長などの要請にともない、九州学院高等学校・中学校が長期にわたって休校となったことから、5月下旬に開催予定でした育友会総会が中止となりました。総会の中止は熊本地震による影響で開催できませんでした2016年以來4年ぶりとなります。

「お花がいつばいで癒されま〜す。何人個も。道行く人がわざわざ立ち寄り「プラント」でこんなにイチゴが育つんですね」と驚かれるほどでした。

Table listing staff changes with columns for 退任 (Resignation) and 新任・再任 (New Appointment/Reappointment), including names and departments like 聖書, 国語, 数学, etc.

九州学院みどり幼稚園

「お花がいつばいで癒されま〜す。何人個も。道行く人がわざわざ立ち寄り「プラント」でこんなにイチゴが育つんですね」と驚かれるほどでした。今年度は新型コロナウイルスの影響で園児も半分以下でしたので、毎日みんなイチゴ狩りを楽しみました。夏には、熊本市の中心部に位置するみどり幼稚園はほとんど園児がマンションに居住してしまっています。朝早くから夕方遅くまで園で過ごす子どもたちは自然に触れる機会がありません。



新入生109名を迎えて新年度開始

4月22日(水)に入学した1年生109名を迎え、中学校は320名で新年度を開始しました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、6月1日からの学校再開となりました。中学校でも換気や消毒などに努め、授業を行っています。新入生は学校が始まったばかりの頃は緊張していた様子でしたが、少しずつ学校生活にも慣れ、それぞれの目標や決意を胸に充実した日々を送っているようです。有意義な3年間を過ごしてくれればと思います。



中学校入学式を挙行109名が学び舎へ

3月14日(土)、九州学院プラウン・メモリアル・チャペルにおいて、4月22日(水)午前11時より2020年度九州学院中学校入学式をチャペルにて挙行しました。今回は不測の事態により式を簡略化し、式後はクラスごとに分散して担任挨拶と学級開きを行いました。式やホームルーム等短時間での実施となりました。今回は不測の事態により式を簡略化し、式後はクラスごとに分散して担任挨拶と学級開きを行いました。式やホームルーム等短時間での実施となりました。



「第73回九州学院中学校卒業証書授与式」が挙行され、103人の卒業生が門出の日を迎えました。本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため在校生と来賓の出席を控えた式となりました。また、式次第も簡素化し、時間短縮を余儀なくされました。規模こそ縮小しましたが、在校生と授業担当の先生がこの日の為に卒業生へビデオメッセージを準備し、式の前に教室で流すなど、生徒たちの門出を温かく祝いました。突然の休校措置となり未曾有の状況が続いている中、式が挙行されるかどうかとも生徒たちは案じていたことと思います。練習も2週間前の一度だけにもかかわらず、卒業生の堂々とした姿に成長が感じられ、私たちも胸が熱くなりました。式後は各教室で最後の卒業ホームルームが行われました。ホームルームでは卒業生が各担任から名前を呼ばれた後、全員に卒業証書が手渡されました。また、各担任から一人ひとりに当たってメッセージや、卒業生による保護者への感謝の手紙など、涙と笑いが入り交じる温かい雰囲気の中、感動のひとときを過ごしました。休校明けの久々の再会ということもあり、別れを惜しむ気持ちもひとしおのようで、涙を浮かべた笑顔の記念撮影が随所で見られました。卒業記念品として頂戴したステンドグラスは中学校校舎の1階に飾ってあります。お越しの際はぜひご覧ください。



中学校卒業証書授与式を挙行 103人が新たな旅路へ